

経営計画策定及びファイナンス戦略セミナー

～MBAビジネスプラン入門～

講座コード

20091002

◆講座の趣旨

このセミナーは中小ベンチャー経営者、大企業の企画担当者などにとって最適のプログラムです。企業を創業する場合や、永続企業として守成するためには、羅針盤が必要で、これが経営計画です。この経営計画を策定する際に必要なスキルを解説、計算演習します。この経営計画を前提に、実績を見ながら、プランをローリングしていくことになります。この経営計画は、設備資金需要、運転資金需要いずれにも対応可能である必要があります。

経営大学院、ビジネススクールでビジネスプラン作成の講座が用意されており、このセミナーは、定量的側面の入門編ですが、実用に供されているものです。

前提条件の組み換えにより、強気のケース、標準的なケース、弱気のリスクを前提としたケースなどにより、すべてのシナリオを用意することができます(ちなみに、以下の計算について練習せずに、知識として習得したいだけの方も歓迎します)。

時間	19:00～20:30	
回数	5回	
受講料	一般	15,000円
	過去の受講者	
	本学以外の学生及び生徒	13,500円
	本学在学生の保護者	
	本学の卒業生	12,000円
会場	日大 i クラブ会員	10,500円
	本学の在学学生及び生徒(含日大 i クラブ学生会員)	7,500円
会場	ミネルヴァホール 日本大学通信教育部本館6階	
定員	30名	
テキスト	資料を配布 下記著書『国際分散投資』贈呈	

◆講座の概要

第1回 5月19日(火)

「インプットデータ作成方法」

経営計画策定のためには、データを確定する必要があります。これには審査手法を活用するのが適切です。審査体系を解説しながら、インプットデータ確定方法を練習します。審査体系のうち、特に実績分析に注力します。

第2回 5月26日(火)

「経営計画とアカウンティング」

獲得したデータを会計学の計算ロジックで、科学的に計算しなければなりません。このうち、私が係り結びと呼んでいるものを中心に解説します。償却前税引き後利益、資金過不足とこれへの対応がポイントです。

第3回 6月2日(火)

「経営計画成功のためのファイナンス」

ファイナンスを狭義に定義すれば、間接金融と直接金融ということになります。いずれの手段を採用するか、できるかで、プロジェクトの経済性評価は、180度異なってきます。ファイナンス戦略の重要性を解説します。

第4回 6月9日(火)

「経営計画の計算演習」

ここでは、金利の跳ね返り計算を中心として、各勘定科目についての予想計算、金利計算(受け取り利息、支払利息)、減価償却費計算、キャッシュフロー、及び税法上の腐れ計算などに習熟しましょう(ちなみに、計算演習ではなく、知識として習得したいだけの方も歓迎します)。

第5回 6月16日(火)

「アウトプットの評価」

フローとしての税引後利益が黒字に転換する時期、ストックとしての累積欠損が黒字に転換する時期、運転資金借入及び設備資金借入のピーク時と金融機関との交渉などにつき、ベンチマークを導入して評価します。



「経営計画策定セミナー」の講座風景

◆講師の紹介

亀谷 祥治 (かめたに・しょうじ)

日本大学大学院グローバルビジネス研究科教授

昭和43年慶應義塾大学経済学部卒業、同年東京大学大学院情報学環教育部修了。日本政策投資銀行設備投資研究所主任研究員、長崎総合科学大学大学院工学研究科教授を経て、平成11年より現職。

学会：日本金融学会など。

著書：『経営計画策定とファイナンス戦略』日刊工業新聞社、『国際分散投資』財経詳報社など。